

The Heart Times

医療法人社団慈弘会
内科・循環器 ハートサウンズ
もり♡クリニック

〒080-0028
帯広市西18条南3丁目1-21
TEL 0155-58-5077
http://www.jikoukai.org/



シリーズ 第2弾

逢いたい人

早坂清美さん



「楽しいんだあ」
むかしも、
いまも、
これからも。

森ありて陽の光をやさしく
森ありて小鳥達の誘いさえずりを聞く
森ありて川の流れるを豊かにする
森ありて生きとし生ける物全てを慈しむ
森ありて：こそ人も癒される

待合室にある心惹かれるこの書は、ある日突然のプレゼントでした。クリニックの印象をこのように表現してくださった作者は早坂清美さんへ七十八歳・山形県出身の院内新聞の題字も毛筆で味わい深く書いてくださいました。毛筆で味わい深く書いてくださいます。巧みに操る早坂さんはどんな人生を歩んできたのでしょうか。

早坂少年は山形の農家の四男坊に生まれました。独自の解釈で、先生方を大いにうならせました。万年筆をモチーフにしたデザインが、校章として採用されたこと、その後の創作活動の道しるべとなるのです。

東京で国学・民俗学を学びたいと四歳で単身上京、受験、見事合格。高校時代は郷土研究部、受検、見事合格。東北や九州など日本各地を研究合宿しました。

早坂青年は親からの仕送りを一切断り、

学費・生活費のため、時の高い印刷屋でアルバイトをしたが、梅田の高級品を、上野界隈で腕時計やカメラなど、見ても買わない。お構いなしだつたし、怖い。の知らず、お構いなしだつたし、怖い。

早坂壮年は卒業後、アルバイトで培ったガリ版のノウハウを活かし、印刷屋を立ち上げ、日夜成長の一端を担った。戦後日本の経済成長の一端を担った。言葉が通じない。お客ともやりあつた。江戸っ子気質で、お客とも

四〇歳の差に掛かたある日、お兄さんへ来ることに来ないか？の一言で帯広スナックのマスターへと華麗なる転身を遂げます。インベーター時代。郊外型の喫茶店は珍しい。客足もよかつた。郊外型の喫茶店は珍しい。客足もよかつた。郊外型の喫茶店は珍しい。客足もよかつた。

現在、呉服店「着る物屋」や食事処「ゆう天」のポップ書きや、散文など依頼を受けて創作しています。

「バツとひらめいたことが、ピタッと言葉にはまるのはうれしいねえ」

墨汁を含んだ毛筆は早坂さんの手にかかると、美しい旋律へと変貌するのです。

培った後の雑さ、浅草の特有の人情味、方と併せ持つ早坂さん、はいつの時代も「楽し

てかいつの時代も「楽し

振爛漫な早坂少年が、手を



SCVC 鹿島由史 副院長が診察します



五月から始まりました札幌心臓血管クリニックのサテライト診療。当院で鹿島副院長がプライマリ診療を行い、必要な場合には送迎付きで札幌で詳しい検査・手術を行うことができます。すでに当院から札幌へ紹介受診、検査、手術も行っていただきました。

札幌心臓血管クリニックは北海道ダントツ一位の手術実績を誇ります。十勝にいながら全国レベルの治療を受けられます。お気軽に看護師受付までお問い合わせください。

いきいき健康カフェ 参加いただき

ありがとうございました。



五月二八日、好評のうちに終えることができました。ご協力いただきました光寿会スタッフの皆様には深く感謝いたします。次回は七月頃を予定しています。

あとがき

おかげさまで五月に開院二周年を迎えることができました。この感謝の気持ちを込めて、お伝えするときに欠かすことのできる本を今ご紹介させていただきます。インタビューの後、般若心経を書いた作品をお土産に頂きました。ありがとうございます。こちらの見事な作品もクリニックに展示していますので、ぜひご覧ください。M先生、これは食べられません！

ダイナマイト・ミカ